



TITLE:

リサーチ・アドミニストレーション組織が成長するための京都大学URA育成カリキュラム

AUTHOR(S):

天野, 絵里子; 橋爪, 寛

CITATION:

天野, 絵里子 ...[et al]. リサーチ・アドミニストレーション組織が成長するための京都大学URA育成カリキュラム. 2016: P_05.

ISSUE DATE:

2016-09-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/234532>

RIGHT:

P_05 リサーチ・アドミニストレーション組織が成長するための京都大学URA 育成カリキュラム

天野絵里子、橋爪寛（京都大学 学術研究支援室）

- 【背景】 URAは新しい職種であり、共通の知識体系が十分に確立されているとはいえない。
 KURAの人材の多様性を強みを組織で効果的に活用するためには、共通の基盤的知識が欠かせない。
 【目的】 リサーチ・アドミニストレーションについて幅広い知識と優れた技術を有するURAを育成すること。

達成目標

競争的資金申請書の作成支援ができるようになる

科目

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. URA業務 | 8. 特許と大学の知的財産活動 |
| 2. 政策・競争的資金制度 | 9. 産官学連携 |
| 3. インタビュー | 10. 情報探索基礎 |
| 4. 研究プロジェクト | 11. 契約 |
| 5. 研究費 | 12. 申請書の書き方 |
| 6. 広報・アウトリーチ | 13. ヒアリング審査対策 |
| 7. 研究倫理・コンプライアンス | 14. 演習+演習解説 |

達成目標

研究支援プログラムの企画書が作成できるようになる

科目（案）

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. マインドセット | 4. プログラムの企画・計画 |
| 2. 問題発見 | 5. プログラムの実施 |
| 3. 問題解決方法の創出 | 6. プログラムの評価 |

共通の高度な知識・技能と専門性を兼ね備えた大学の経営人材を育成

URAの業務、適正に応じて専門領域の知識・技能を高度化

レベル3 専門領域

レベル2 支援プログラムの企画・運営 平成28年度より試行・実施

レベル1 競争的資金申請支援 平成25年度より実施

各URAが講義やワークショップで知識・技能を獲得

各種の支援プログラムをチームワークで実践

京都大学URA育成カリキュラム × On the Job Training (OJT) = KURA

科研費

CREST
さががけ

RISTEX

財団

産学連携

その他の申請支援

SPIRITS
学内ファンド

いしずえ
学内ファンド

分野横断

みがき
英語論文校閲支援

国際

広報

学際

産学連携

大学経営

各分野

リサーチアドミニストレーションの
知識基盤を確立
全員が受講

知識の好循環で組織が成長
講師を内部で育成

- ・教えることで学べる
- ・京大の環境を内容に反映できる
- ・お互いの専門性を活かす

修了者数
 平成25年度 22名
 平成26年度 13名
 平成27年度 10名

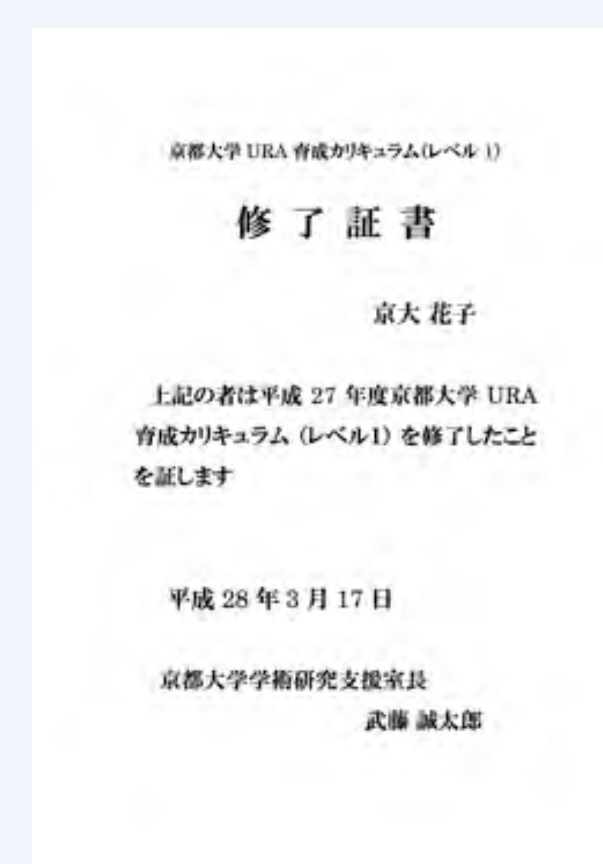
京都大学の研究環境を
踏まえた独自のテキスト



レベル1の講義14本は動画で
オンデマンド視聴が可能

URAの高度化と定着に貢献
キャリアパスともリンク

修了証を発行



受講者の声

URAにとって必須の知識を学べた

実践的で今すぐにも業務の参考になる

他大学のURAにも役に立つかも